



Calbee

Harvest the Power of Nature.

カルビーグループ決算説明会

2018年3月期第3四半期

2017年4月1日～2017年12月31日



TSE code : 2229

カルビー株式会社

2018.2.1

2018年3月期第3四半期決算報告 及び今後の取り組み

上級常務執行役員
菊地 耕一

目次

- 1. 2018年3月期第3四半期決算報告**
- 2. 今後の取り組み**

1. 2018年3月期第3四半期決算報告

2. 今後の取り組み

決算サマリ

- 北海道馬鈴しょ収穫以降、ポテトチップスは好調だったものの、国内フルグラの伸び悩みや海外事業の不振をリカバーできず、売上、営業利益ともに修正計画に対して未達
- 第3四半期3ヶ月では、ポテトチップス、フルグラ（グラノーラ）の売上、国内シェアともに拡大

KPIs (重要業績評価指標)	通期目標 (修正計画)	2018年3月期 第3四半期 計画 【9ヶ月】	2018年3月期 第3四半期 実績 【9ヶ月】	計画 進捗
増収率	+1.4%	+0.1%	△1.2%	
営業利益増益率	△4.7%	△8.6%	△13.7%	
営業利益率	10.7%	10.7%	10.3%	
海外売上比率	14.2%	13.9%	13.5%	
販売費比率	14.3%	14.0%	14.3%	

2018年3月期第3四半期業績 決算ハイライト

ポテトチップス好調により増収、営業増益

	2017年3月期 第3四半期【3ヶ月】		2018年3月期 第3四半期【3ヶ月】		伸び率 (%)	計画比 (%)
	(百万円)	構成比(%)	(百万円)	構成比(%)		
売上高	65,290	100.0	67,869	100.0	+3.9	96.4
売上総利益	29,245	44.8	30,553	45.0	+4.5	97.0
販売管理費	20,754	31.8	21,701	32.0	+4.6	100.9
販売費	9,660	14.8	9,904	14.6	+2.5	102.1
物流費	4,340	6.6	4,564	6.7	+5.2	99.2
人件費	4,353	6.7	4,803	7.1	+10.3	104.4
その他	2,399	3.7	2,428	3.6	+1.2	93.4
営業利益	8,490	13.0	8,852	13.0	+4.3	88.5
経常利益	9,551	14.6	8,869	13.1	△7.1	89.6
特別損益	△116	—	△49	—	—	—
非支配株主利益	△76	—	△74	—	—	—
当期純利益*	6,423	9.8	6,021	8.9	△6.2	97.1

*当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります

- 経常利益は、前年第3四半期に為替差益1,073百万円があったため、減益

馬鈴しょ不足による第1四半期のポテトチップス休売の影響や 北米事業不振により、減収減益

	2017年3月期 第3四半期【9ヶ月】		2018年3月期 第3四半期【9ヶ月】		伸び率 (%)	計画比 (%)
	(百万円)	構成比(%)	(百万円)	構成比(%)		
売上高	188,944	100.0	186,691	100.0	△1.2	98.7
売上総利益	83,823	44.4	80,076	42.9	△4.5	98.8
販売管理費	61,578	32.6	60,886	32.6	△1.1	100.3
販売費	27,873	14.8	26,709	14.3	△4.2	100.8
物流費	12,666	6.7	12,849	6.9	+1.4	99.7
人件費	13,508	7.1	13,691	7.3	+1.4	101.5
その他	7,530	4.0	7,635	4.1	+1.4	97.8
営業利益	22,244	11.8	19,190	10.3	△13.7	94.4
経常利益	22,328	11.8	19,426	10.4	△13.0	95.0
特別損益	△313	—	△125	—	—	—
非支配株主利益	409	—	△86	—	—	—
当期純利益*	14,407	7.6	13,067	7.0	△9.3	98.7

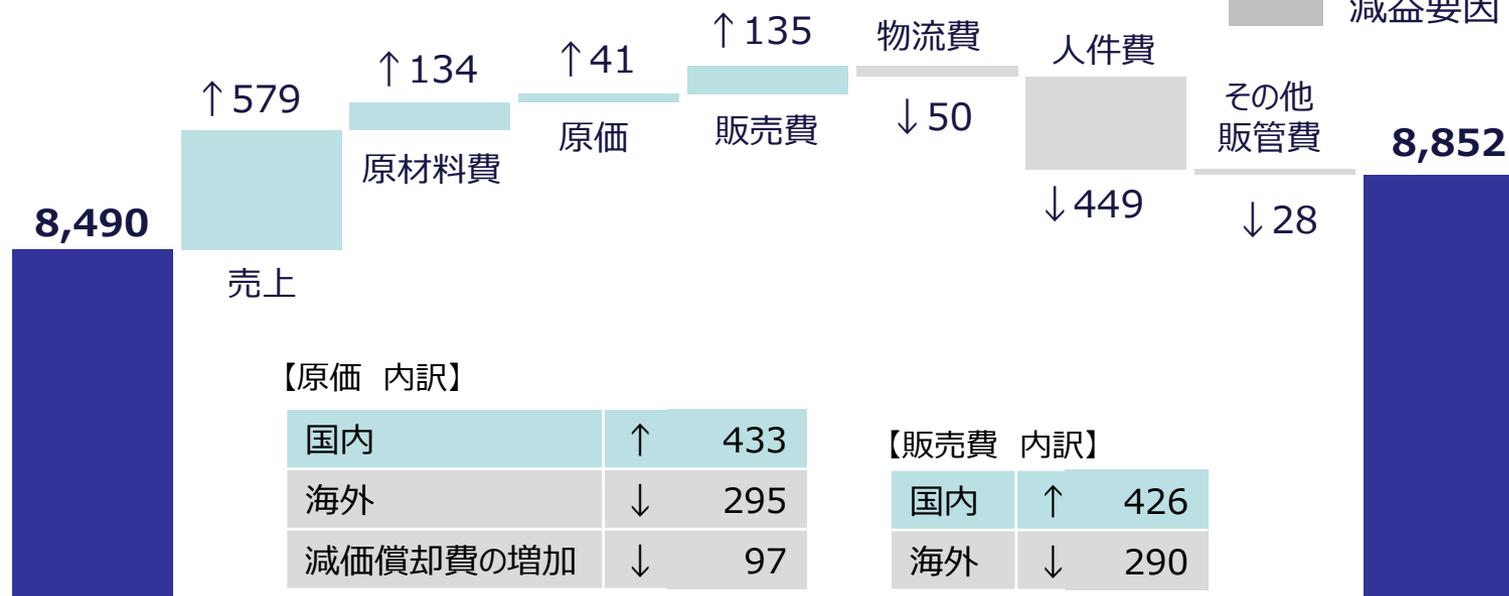
*当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります

2018年3月期第3四半期業績 営業利益分析

営業利益の増減（前年同期比）

（百万円）

■ 増益要因
■ 減益要因



2017年3月期
第3四半期
(3ヶ月)

前年同期比 +361百万円

2018年3月期
第3四半期
(3ヶ月)

- 原材料：馬鈴しょの品質向上による歩留り改善
- 原価：国内ではスナックの稼働改善
海外では北米事業不振により稼働悪化
- 販売費：国内では値引率改善継続、海外では北米で売上不振により販売費比率悪化
- 人件費：海外で人員増及び国内での賞与引当金取り崩し益の減少

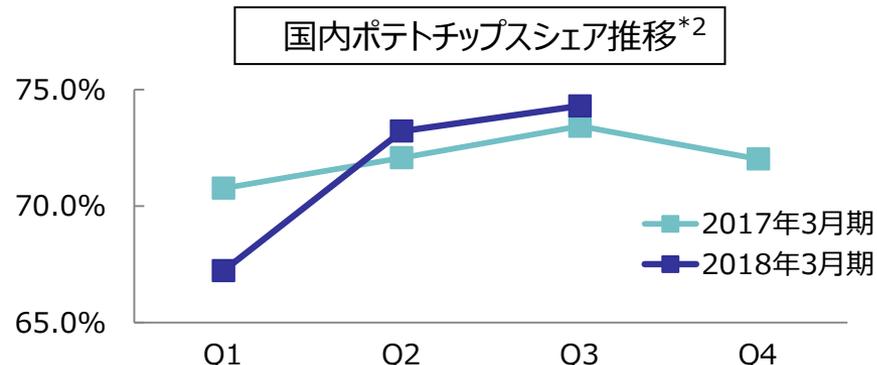
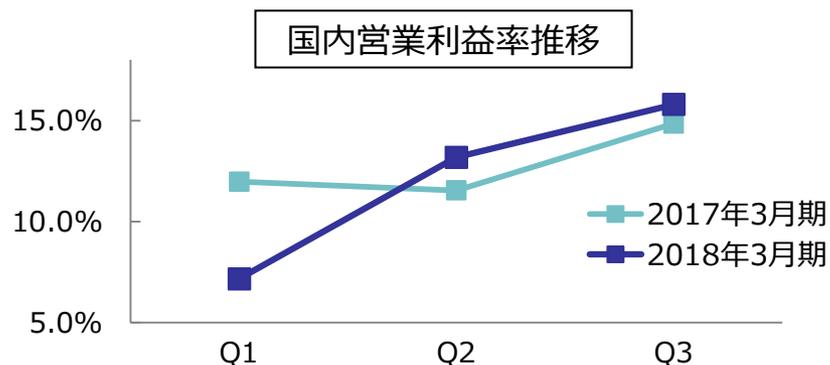
2018年3月期第3四半期業績 国内事業

ポテトチップスのシェア拡大や販売費コントロールにより増収増益となり、
営業利益率15%到達

(百万円)

	2017年3月期 第3四半期【3ヶ月】	2018年3月期 第3四半期【3ヶ月】	増減	伸び率 (%)
国内売上高	58,240	58,750	+510	+0.9
スナック	46,732	48,332	+1,599	+3.4
ポテトチップス	21,524	23,434	+1,909	+8.9
上記以外スナック	25,207	24,898	△309	△1.2
シリアル	6,623	5,593	△1,029	△15.5
フルグラ	6,366	5,593	△772	△12.1
コーンフレーク ^{*1}	257	0	△257	△100.0
国内営業利益 (売上高比)	8,645 (14.8%)	9,284 (15.8%)	+639	+7.4

*1：コーンフレークは2017年3月期で終売



ポテトチップス

- 夏の北海道産馬鈴しょ収穫以降、販売強化を本格化
 - ピザポテトやうすしお等の定番品が好調
 - 地域との共創による47都道府県ポテトチップス (♥JPN) は計画以上の売上

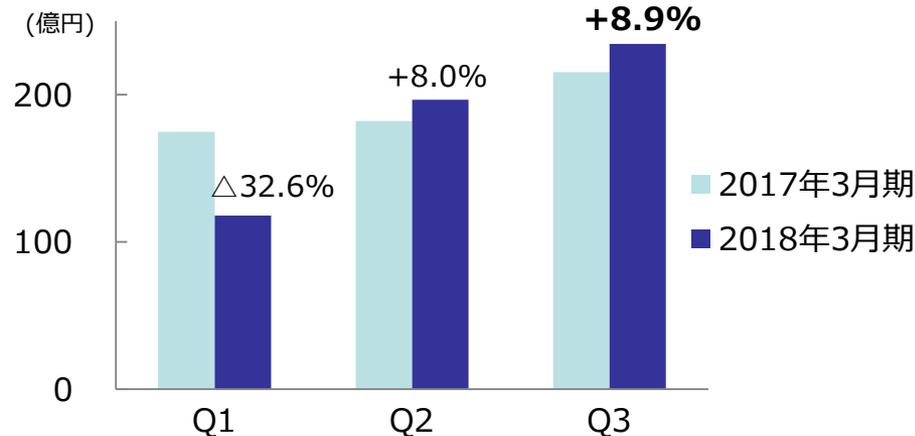


上記以外の国内スナック

- じゃがりこ、Jagabeeは、期間限定品等が振るわず減収
- 極じゃが、miino等のその他スナックが増収

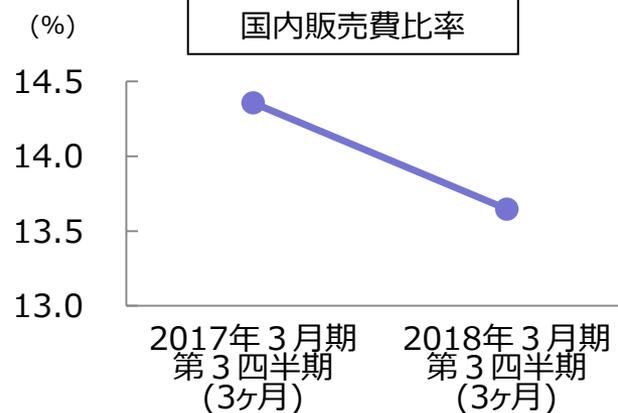


ポテトチップス売上高



販売費

- 値引率改善により販売費比率低下



中国向けフルグラやインドネシア等により増収も、北米事業の不振継続により赤字拡大

(百万円)

	2017年3月期 第3四半期 【3ヶ月】	2018年3月期 第3四半期 【3ヶ月】	伸び率 (%)
海外売上高	7,049	9,118	+29.3
北米	2,556	2,237	△12.5
中華圏	1,395	2,862	+105.1
内フルグラ	-	1,131	-
韓国	1,182	1,381	+16.9
その他アジア・豪州	1,707	2,286	+33.9
欧州	207	351	+69.1

増減の内訳			
増減	為替差	実質	実質伸び率(%)
+2,068	+315	+1,752	+24.9
△319	+30	△350	△13.7
+1,466	+43	+1,422	+101.9
+1,131	-	+1,131	-
+199	+109	+90	+7.7
+578	+103	+474	+27.8
+143	+28	+115	+55.4

	2017年3月期 第3四半期 【3ヶ月】	2018年3月期 第3四半期 【3ヶ月】	増減
海外営業利益	△154	△432	△278
北米	227	△231	△459
中華圏	170	139	△31
韓国	△95	△57	+37
その他アジア・豪州	△244	△191	+53
欧州	△212	△90	+121

・為替レート

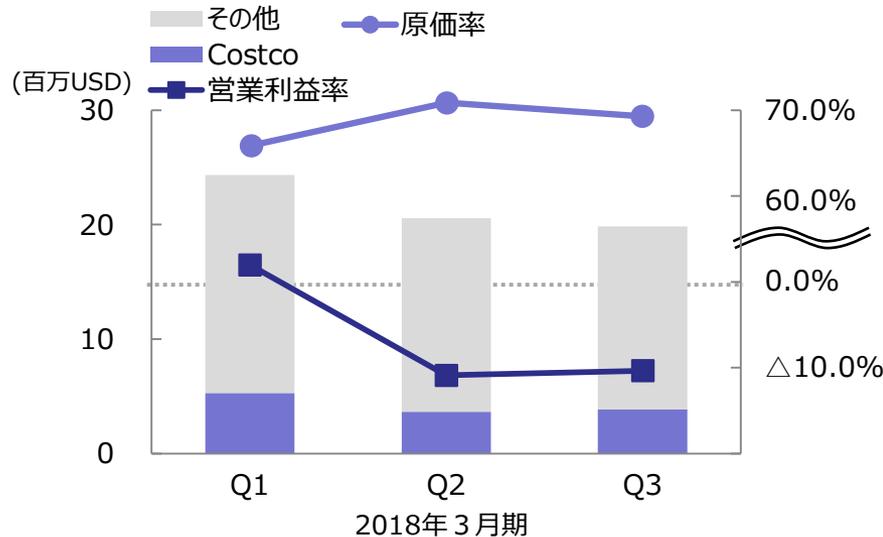
2017年3月期第3四半期：1 USD = 107.87円

2018年3月期第3四半期：1 USD = 111.81円

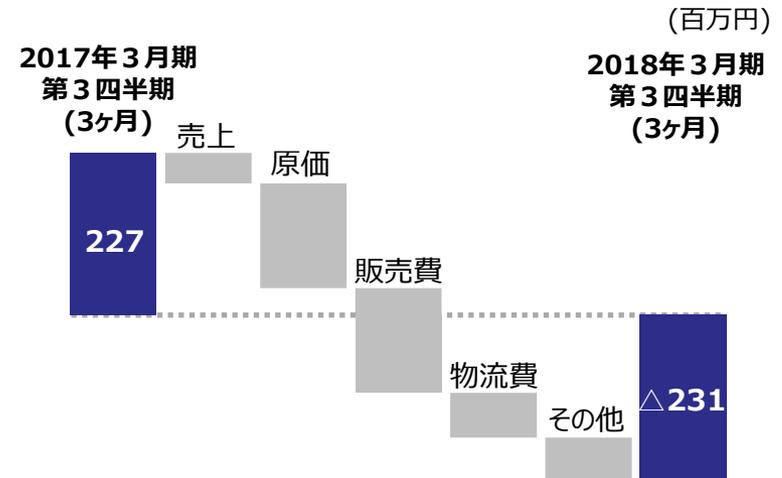
北米

- 大口顧客（Costco）への販売は第2四半期に比べ+5.3%となったが、全体のモメンタム回復には至らず
- 固定費（労務費）削減の遅れと、店頭販促費用やHarvest SnapsのCM投入による販売費増加により赤字

北米事業 売上高・営業利益率・原価率推移



北米事業 営業利益分析



中華圏

- 越境EC子会社は、中国向けフルグラの販売により増収増益

2018年3月期第3四半期業績 フルグラ

(百万円)

	2017年3月期 第3四半期 【3ヶ月】	2018年3月期 第3四半期 【3ヶ月】	伸び率
フルグラ売上高	6,366	6,725	+5.6%
国内消費計	4,995	5,244	+5.0%
海外消費計*1	1,370	1,481	+8.1%

	2017年3月期 第3四半期 【9ヶ月】	2018年3月期 第3四半期 【9ヶ月】	伸び率
フルグラ売上高	22,842	20,064	△12.2%
国内消費計	17,640	18,058	+2.4%
海外消費計*1	5,201	2,005	△61.4%

*1：2017年3月期の海外消費は推計

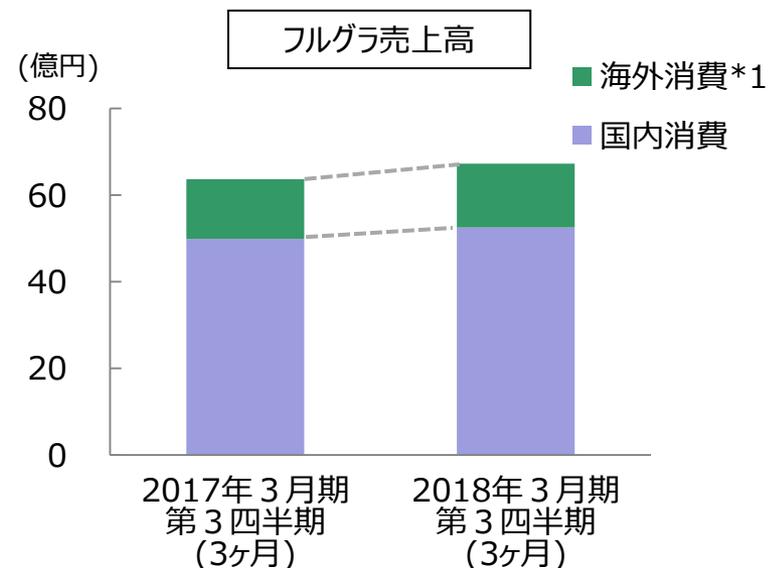
■ 国内消費：

- 海外から逆流した在庫が一掃され、第3四半期(3ヶ月)は、前年同期比+5.0%
- 新製品を積極的に投入し、グラノーラシェアも拡大(前年同期比+5.8ポイント)*2

*2：P18参照

■ 海外消費：

- 越境ECでの大型販促イベント(ダブル11等)における積極的なプロモーションにより、第3四半期(3ヶ月)は前年同期比+8.1%
- 11月より、国内卸経由での中国小売店舗向け出荷を開始(売上高2.4億円)



1. 2018年3月期第3四半期決算報告

2. 今後の取り組み

国内

- **ポテトチップス**：47都道府県ポテトチップス第3弾販売や、
堅あげポテトお国自慢祭り企画等により、引き続き販売強化
- **フルグラ**：新フレーバー販売
Sサイズ製品拡充し、試し買いを促進
- **営業利益**：ポテトチップスの稼働改善や、効率的な販売費の
運用等により収益性向上を目指す



海外

北米

- Costco向けクーポンプロモーション実施をするなど、
クラブストア向けビジネスの回復を目指す
- Harvest Snapsリニューアルと新フレーバーの4月販売に向け、生産開始
- **営業利益**：生産ラインのシフトダウンにより労務費削減
第4四半期からの黒字化を目指す

中国向けフルグラ

- 従来の越境ECに加え、小売店舗向け出荷の拡大をすすめ、
中国国内ECにも参入



中国小売店舗でのフルグラ販売の様子

参考資料

2018年3月期第3四半期 製品別売上高

(百万円)

	2017年3月期 第3四半期【3ヶ月】			2018年3月期 第3四半期【3ヶ月】			2018年3月期 第3四半期【9ヶ月】		
	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率
国内スナック	46,732	71.6%	+2.4%	48,332	71.2%	+3.4%	129,374	69.3%	△0.4%
国内シリアル	6,623	10.1%	+4.5%	5,593	8.2%	△15.5%	18,409	9.9%	△23.0%
国内その他食品*	3,777	5.8%	△9.8%	3,619	5.3%	△4.2%	10,726	5.7%	△7.4%
国内食品計	57,134	87.5%	+1.8%	57,545	84.8%	+0.7%	158,510	84.9%	△4.2%
海外スナック	7,049	10.8%	△4.2%	7,986	11.8%	+13.3%	23,541	12.6%	+12.6%
海外シリアル	-	-	-	1,131	1.7%	-	1,656	0.9%	-
海外食品計	7,049	10.8%	△4.2%	9,118	13.4%	+29.3%	25,198	13.5%	+20.6%
食品製造販売事業合計	64,183	98.3%	+1.1%	66,663	98.2%	+3.9%	183,709	98.4%	△1.4%
その他事業	1,106	1.7%	+53.8%	1,205	1.8%	+8.9%	2,982	1.6%	+11.9%
売上高合計	65,290	100.0%	+1.7%	67,869	100.0%	+3.9%	186,691	100.0%	△1.2%

<国内スナック内訳>

ポテト系スナック	34,477	52.8%	+2.4%	35,880	52.9%	+4.1%	91,914	49.2%	△2.9%
ポテトチップス	21,524	33.0%	+1.3%	23,434	34.5%	+8.9%	54,880	29.4%	△4.1%
じゃがりこ	9,532	14.6%	+7.4%	9,315	13.7%	△2.3%	26,536	14.2%	△3.0%
Jagabee/じゃがポックル	3,419	5.2%	△3.7%	3,130	4.6%	△8.5%	10,498	5.6%	+4.4%
小麦系スナック	5,762	8.8%	+3.3%	5,756	8.5%	△0.1%	17,052	9.1%	+2.1%
かつばえびせん	2,782	4.3%	△1.8%	2,793	4.1%	+0.4%	8,060	4.3%	△0.2%
サッポロポト等	2,979	4.6%	+8.4%	2,963	4.4%	△0.5%	8,991	4.8%	+4.3%
コーン系・豆系スナック	4,254	6.5%	△16.4%	4,202	6.2%	△1.2%	12,954	6.9%	△1.4%
その他スナック**	2,238	3.4%	+75.8%	2,492	3.7%	+11.3%	7,452	4.0%	+37.7%

* 「シリアル、ベーカリー等」の「ベーカリー」と「その他」を「国内その他食品」にまとめて表記

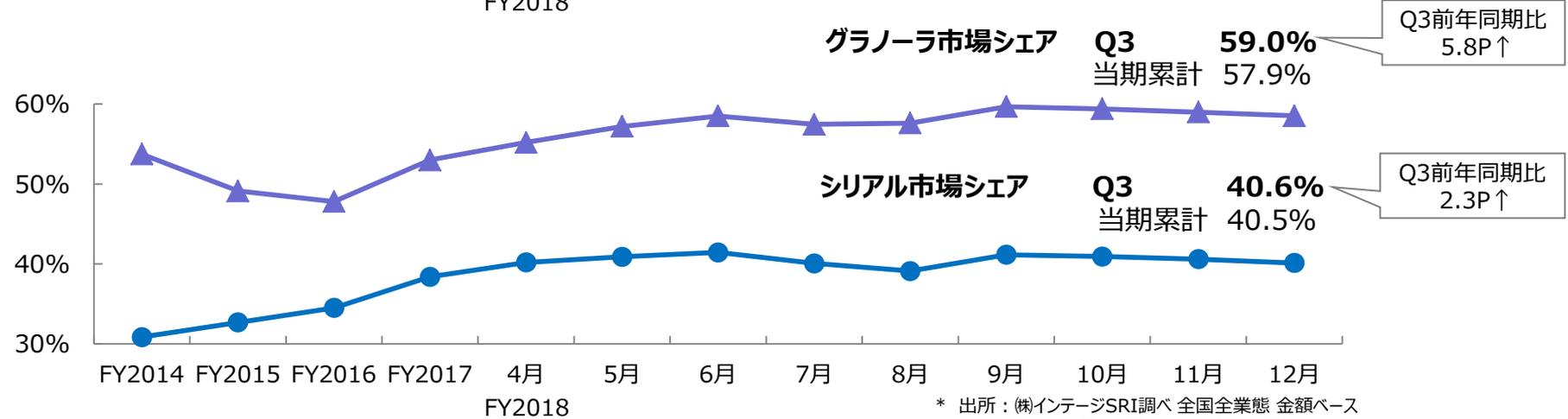
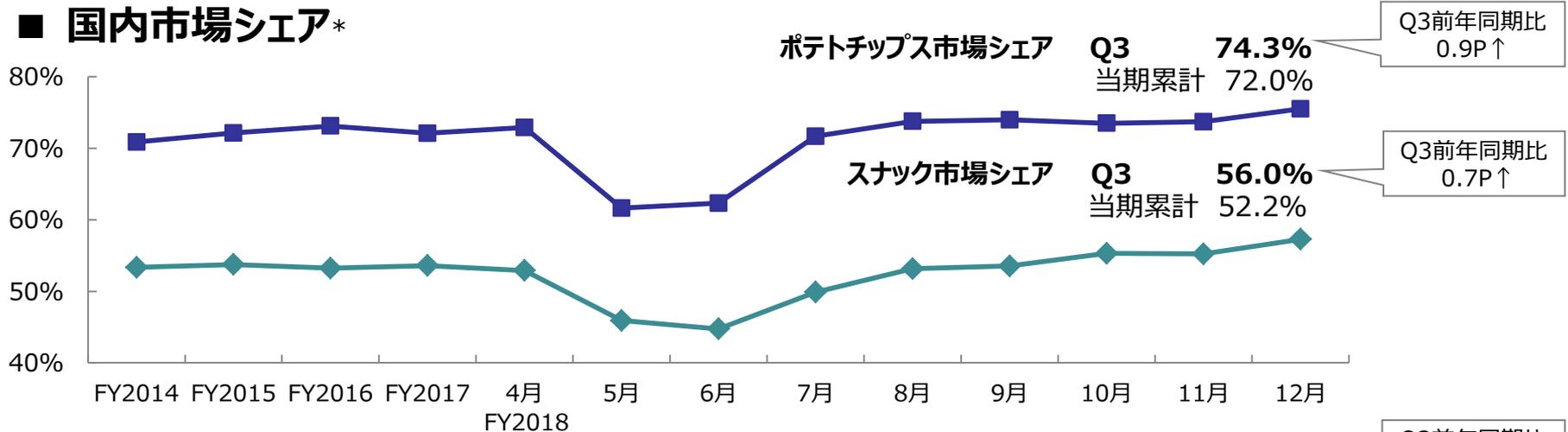
** 「その他新規スナック等」の名称を「その他スナック」に変更

2018年3月期第3四半期 海外別売上高

国名	円	2017年3月期 第3四半期【3ヶ月】	2018年3月期 第3四半期【3ヶ月】	伸び率	2018年3月期 第3四半期【9ヶ月】	伸び率
	現地通貨					
北米						
北米	百万円	2,556	2,237	△12.5%	7,239	△10.9%
	千USDドル	22,997	19,850	△13.7%	64,748	△14.0%
中華圏						
中国	百万円	387	437	+12.9%	1,259	+4.6%
	千元	24,017	25,708	+7.0%	75,629	+1.2%
香港*	百万円	980	2,264	+130.9%	4,717	+70.3%
	千HKドル	68,774	157,449	+128.9%	329,187	+65.1%
台湾	百万円	27	159	+487.7%	336	+975.3%
	千NTドル	8,047	42,919	+433.3%	91,067	+879.4%
韓国						
韓国	百万円	1,182	1,381	+16.9%	4,089	+0.8%
	百万ウォン	12,424	13,405	+7.9%	40,817	△5.6%
その他アジア・豪州						
タイ	百万円	758	916	+20.8%	2,468	+18.1%
	千バーツ	243,598	269,627	+10.7%	741,394	+8.5%
フィリピン	百万円	134	120	△9.9%	362	△2.9%
	千ペソ	59,873	53,977	△9.8%	163,100	△1.1%
シンガポール	百万円	320	328	+2.5%	995	+1.6%
	千SGドル	4,093	3,937	△3.8%	12,170	△2.6%
インドネシア	百万円	494	809	+63.8%	2,396	+301.0%
	百万IDルピア	60,835	97,474	+60.2%	288,688	+291.4%
オーストラリア	百万円	—	110	—	278	—
	千AUDドル	—	1,281	—	3,236	—
欧州						
UK	百万円	195	351	+80.1%	1,040	+66.0%
	千UKポンド	1,416	2,343	+65.4%	7,116	+63.1%
スペイン	百万円	12	0	△100.0%	13	△67.9%
	千EUR	106	0	△100.0%	107	△69.8%

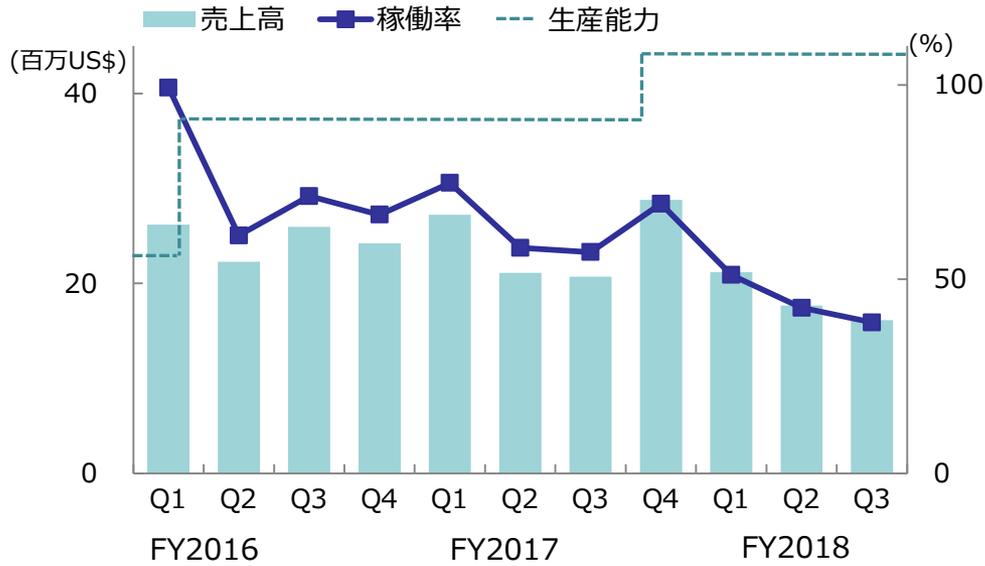
*香港のうち、カルビーイーコマースの採用通貨はJPY

■ 国内市場シェア*



* 出所：(株)インテージSRI調べ 全国全業態 金額ベース
 Q1：4月～6月、Q2：7月～9月
 Q3、第3四半期：10月～12月、Q4：1月～3月
 前年同期：2016年10月～2016年12月
 当期累計：2017年4月～2017年12月
 FY2014-FY2016：2013年4月～2017年3月
 スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計
 ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・
 ポテトシュースト・ケトル合算、非公開PB含む
 グラノーラ市場：シリアル市場・グラノーラカテゴリ

■ 北米 Harvest Snaps売上高・工場稼働率



本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR部

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2018は2018年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

2018年2月1日開催
2018年3月期第3四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1 国内ポテトチップスは、今後も販売費を抑制しながら売上を伸ばしていくことができるのか？
第3四半期は想定以上に需要が強かったため、販売費の抑制も第2四半期から継続することができました。今後についても、市場の動向を見ながら判断していきたいと考えています。

Q2 国内でのフルグラの需要の動向を教えてください。
市場全体が伸び悩む中、第3四半期(3ヶ月)のフルグラの売上は、前年比で伸長することができました。SKUは増加しましたが、新しい顧客層への訴求効果はまだ十分ではないとみています。フルグラの認知度は50%台であり、購入率も低いいため、認知度と購入率を高め、新規顧客を獲得することによって、さらに成長させていきたいと考えています。

Q3 中国小売店舗でフルグラの販売を開始したが、現在の引き合いの状況は？また、今後の展開は？
11月の終わりから出荷を開始し、12月から1月にかけて中国で店頭に並び始めました。夏の京都工場稼働開始に向け、中国国内EC、越境EC、小売店舗の3つのチャンネルで攻めていく方針に変わりはありません。しかし、京都工場の150億円のキャパシティの増加に対して、初年度からフル稼働になるとは考えていません。3つのチャンネルでどのように展開するかも含め、来期の具体的な計画は現在策定しているところです。将来的には、海外フルグラ事業全体で利益率10%を目指したい考えです。

Q4 中国国内ECで既にフルグラは販売しているのか？
現在はまだ参入していません。第4四半期中には参入する予定です。

Q5 中華圏が減益になっている理由は？
減益の要因は、主にスナックの輸入販売を行っている台湾での赤字が拡大したことによるもので、中国向けのフルグラ販売を行っている香港は増益に寄与しました。

Q6 北米回復の進捗具合を教えてください。
第3四半期は、通常アメリカのヘルシースナック需要が落ちる時期ですが、第2四半期並みの売上となったため、モメンタムとしては底打ちしているとみています。

Q7 北米の来期の見込みを教えてください。
来期については、増収増益を目指したいと考えていますが、以前のような高い成長率を目指す計画にはなりません。営業利益については、シフトダウンによる労務費の削減など、生産体制の改善がすすみ、利益が出せる体制になりつつあります。営業利益率は、1桁台になろうかと思いません。

Q8 第3四半期の実績は、計画に対してどうだったのか？

第3四半期(3ヶ月)の営業利益は、計画に対して、国内事業△4億円、海外事業△7億円、連結合計△11億円となりました。

国内では、フルグラの伸び悩みをポテトチップスの伸長でカバーしましたが、ポテトチップスに需要が集中した影響等により、その他のスナックの売上が減少し、営業利益も計画未達となりました。海外では、販売費が増加した北米や、韓国、インドネシア等で計画未達となりました。

Q9 第3四半期で営業利益は計画未達だが、通期計画の達成に向けて挽回できるのか？

国内では、ポテトチップスの需要が強く、それほど大きなリスクはないと考えています。

海外では、北米で第4四半期の黒字化を目指していますが、第3四半期での計画差全てを取り戻すことは厳しい状況です。

以上